

核軍縮現状や交渉術学ぶ

国連ユニタール事務所 研修会開催へ

国連ユニタール広島事務所(中区)は25日、東南アジア5カ国の軍縮担当の若手実務者を対象にした核軍縮の研修を、来月8〜12日に実施すると発表した。同事務所による核軍縮・不拡散の研修は初めてという。専門家らを講師に迎え、世界の核軍縮を巡る現状や外交交渉の技術を学ぶ。

参加するのは、マレーシア▽フィリピン▽タイ▽インドネシア▽ミャンマーの5カ国から11人を予定している。被爆70年となる今年、広島で被爆について学ぶとともに交渉技術を身に付け、参加国同士の結束を強めてもらおうと企画した。

講師は、ストックホルム国際平和研究所のラウフ・タリク氏や、大阪女学院大の黒沢満教授、外務省の野口泰・軍備管理軍縮課長らが務める。プログラムでは、被爆者から直接証言を聴く機会を設けるほか、原爆資料館や原爆ドームの見学など広島ならではの企画も予定している。

また、来月10日午後6時から、タリク氏や黒沢教授らがパネリストとして登壇する公開セッションも中区の広島国際会議場で開かれる。入場無料で同時

広島駅ビルASSE6F
●処方せん調剤●健康食品

もみじ薬局
<http://www.momizi.jp>
営業時間/AM9:30~PM8:30
定休日/日曜・祝日
広島市南区松原町2-37(駅ビルASSE6F)
☎(082)261-4367 FAX(082)261-4727

通訳がある。問い合わせは同事務所(082-511-2424)。
【加藤小夜】

May 26 2015, Mainichi Newspaper

UNITAR Hiroshima Office is going to hold Training Programme on Nuclear Disarmament whose objective is to learn the present situation and negotiation skills.